



これから吃音の支援を 始めようとする人のために



吃音の支援ってどうやるの？ 訓練以外にできることがあるの？ 何をめざすといいの？ 私たちにできることってなあに？・・・

吃音のあるお子さんがどうしたら毎日を楽しく過ごせるのか、そのためにどのような支援が可能なのか・・・。

吃音の正しい知識を持つことや、周囲の理解を得ることの意義についてなど、幼児期、学童期の事例を中心に紹介し、これから吃音の支援を始めようとする方のために、支援のヒントを提案します。

<内 容>

- ・吃音の知識を持つことの意義（正体を知ることで安心につながる）
- ・吃音に触れることの意義（普段から吃音について話し合われていれば、吃音を隠すことによる心の負担の蓄積を免れる上、いざ事が起きたときに子どもから大人にマネやからかいの有無について報告してくれる）
- ・園や学校に働きかけ、担任からクラスで吃音の説明をしてもらう事の意義（吃音のマネやからかいなどを担任に訴え、担任が動いてくれることで子どもは大人を信頼し、問題の報告と解決のための共同作業が可能となる）

これらについて VTR を交えてお伝えしたいと思います。

司会進行：久美愛厚生病院 田宮久史（第5回大会事務局長）

日 時：2017年8月20日（日）13:00～14:15

場 所：第3会議室（3F）

対 象：これから吃音の支援を始めようとする方



<プログラム>

13:00～13:35 第1部 事例の紹介
園児、小学校低学年を中心に。

13:40～14:15 第2部 事例の紹介
小学校高学年、中学生を中心に。

さあ、一緒に
はじめましょう！



吃音の相談があっても、支援の仕方がよくわからないで戸惑っている言語聴覚士の方や教員の方に、具体的なアドバイスをします。支援者のネットワークを作りましょう。